

令和7年度岩手県県央保健所運営協議会会議録

1 日 時

令和8年1月19日（月）15：30～16：21

2 場 所

盛岡地区合同庁舎8階大会議室

3 出席者

(1) 委員 18名（本人出席12名、代理出席6名）

佐々木孝弘委員（代理：佐々木福祉部長）、武田哲委員（代理：猿舘健康こども部長（ZOOM））、猿子恵久委員（代理：川崎健康推進課長（ZOOM））、佐々木光司委員（代理：横澤健康こども課長）、熊谷泉委員、高橋昌造委員（代理：佐々木健康長寿課長）、伊藤達朗委員（ZOOM）、高嶋勉委員（ZOOM）、臼田昌弘委員（代理：菊池副院長（ZOOM））、森野禎浩委員（ZOOM）、伴亨委員（ZOOM）、佐々木俊委員（ZOOM）、石川修司委員（ZOOM）、後藤未央子委員（ZOOM）、佐藤詩夫委員、大平栄子委員（ZOOM）、佐藤康子委員、藤原義一委員

※ 鈴木重男委員、野崎雄一委員、後藤夕香里委員、海上博委員、後藤秀樹委員の5名欠席

(2) オブザーバー 1名

盛岡市保健所：川目保健衛生監（ZOOM）

(3) 事務局 12名

仲本光一所長、日向秀樹副所長、中田浩一特命参事、柴田勝師次長、工藤富士子主幹兼企画管理課長、阿部幸子主幹兼医療介護課長、高橋信之保護課長、中野真美子技術主幹兼保健課長、芳賀寛福祉課長、阿部規子環境衛生課長、桜田康子主任主査、横澤貴子主査保健師

(4) 傍聴者

一般：なし、報道：なし

4 会議の内容

(1) 開会

保健所運営協議会条例第5条第2項に基づく会議の成立を報告（柴田次長）

(2) あいさつ（仲本所長）

令和7年度岩手県県央保健所運営協議会の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。
委員の皆様には、日頃から保健・医療・福祉・環境衛生の各分野において、それぞれのお立場から御支援、御協力をいただいております、感謝申し上げます。

さて、昨年は元日に県内において発生した高病原性鳥インフルエンザや、2月に大船

渡市において発生した山林火災をはじめ、カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波や青森県東方沖を震源とする地震、クマによる人身被害など、様々な危機が発生し、全国各地においても、地震や大規模火災、大雨被害など災害に見舞われました。

このような中、保健所に求められる役割は、これらの災害や防疫措置対応の他、心と体の健康づくりをはじめ、地域医療の確保充実、障がい者支援や子育て支援対策のほか、環境保全や食品衛生対策など多岐にわたっております。

本日の協議会では、こうした課題に対する当保健所の今年度の取組状況をご説明させていただき、委員の皆様から御意見を頂戴したいと存じます。

皆様からの御意見を踏まえ、圏域内の保健・医療・福祉・環境衛生の一層の増進に努めて参りたいと考えておりますので、本日は、限られた時間ではありますが、忌憚のない御発言をお願いいたしまして、挨拶いたします。

(3) 委員紹介（柴田次長）

名簿に記載のとおり（個別の紹介は割愛）

(4) 議事

【(1)協議事項】（柴田次長）

会長及び副会長の選出

・ 会長、副会長の選任について委員に諮り、事務局から、会長には紫波町長の熊谷委員、副会長には紫波郡医師会長の野崎委員を選任してはどうかとの案を提示し、委員から承認された。

以後、熊谷会長が議長として議事を進行

【(2)報告事項】

「いわて県民計画 第2期アクションプラン（2023～2026）」（県央保健所）に係る令和5年度取組実績について

・ 資料No.1により、阿部主幹兼医療介護課長、中野技術主幹兼保健課長、芳賀福祉課長及び高橋保護課長から保健医療福祉分野の今年度事業実績を説明。

(質疑意見等)

なし

・ 引き続き、資料No.1により、阿部環境衛生課長から環境衛生分野の今年度事業実績を説明。

(質疑意見等)

なし

【(3) 情報提供】

ア 岩手県救急安心センター（#7119）について

〔 ・ 資料No. 2 により阿部主幹兼医療介護課長から説明。 〕

【(3) 情報提供】

イ 感染症の動向について

〔 ・ 資料No. 3 により中野技術主幹兼保健課長から説明。 〕

【(3) 情報提供】

ウ クマ鈴及びクマスプレーの貸与について

〔 ・ 資料No. 4 により阿部環境衛生課長から説明。 〕

(質疑意見等)

なし

【(4) 意見交換（保健所業務全般）】

(質疑意見等)

○ 藤原委員

コロナが、全部ではないが大分収まったと思うが、例えば、流行するとすればいつなのか、なかなか分からないが、これからどのような方向になっていくのかお知らせいただきたい。

○ 仲本保健所長

世界的にも少し減ってきてはいる。軽症化はしているが、依然としてずっと流行はあり、予測するのは難しいが、例えば百年前にスペイン風邪として流行したインフルエンザは未だに普通の季節性インフルエンザとしてある。そういう意味ではただだらずっと続くことが予想される。その度に新たな株が出てきてワクチンを変えなきゃいけないなどの事態が起きると思うが、冬の時期など、インフルエンザとあわせて、注意していただくことが続くかと思う。また、新しい株が出て外国で増えるようであれば、保健所からお知らせをしたい。

(5) その他

委員、事務局からなし

(6) 閉会